

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニク株式会社**
住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3
電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1001(E8004) (Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名(又は一般名)：酸化アルミニウム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化アルミニウム：約60%

：脂肪酸：約24%

その他ロジン等を含む

化学特性(化学式または構造式)： $Al_2O_3, CH_3(CH_2)_nCOOH$

官報公示整理番号(化審法)：1-23, 2-608

CAS番号：1344-28-1 67701-06-8

危険有害成分

労働安全衛生法：第57条名称等を通知すべき有害物

190 酸化アルミニウム：約60%

630 ロジン：約5.8%

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条)よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置**設備対策**

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状：個形成型体
色：ピンク
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性

溶媒に対する溶解性

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

(酸化クロムそのものの廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法令に従い、管理型の最終処分場に埋め立て処分しなければならない)

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化アルミニウム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・じん肺法
- ・じん肺法施行規則

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニワ株式会社**
住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3
電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1003(E8005) (Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名(又は一般名)：酸化アルミニウム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化アルミニウム：約77%

：脂肪酸：約19%

その他界面活性剤等を含む

化学特性(化学式または構造式)： $Al_2O_3, CH_3(CH_2)_nCOOH$

官報公示整理番号(化審法)：1-23, 2-608

CAS番号：1344-28-1 67701-06-8

危険有害成分

労働安全衛生法：第57条名称等を通知すべき有害物

190 酸化アルミニウム：約77%

PRT法：第1種指定化学物質

307 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル

(C = 12 - 15 及びその混合物に限る)：約1.8%

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条)よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：固形成型体
色：白色
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性

溶媒に対する溶解性

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

(酸化クロムそのものの廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法令に従い、管理型の最終処分場に埋め立て処分しなければならない)

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化アルミニウム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・じん肺法
- ・じん肺法施行規則

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニワ株式会社**
住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3
電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1004 (Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名(又は一般名)：酸化アルミニウム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化アルミニウム：約78%

：脂肪酸：約22%

化学特性(化学式または構造式)： $Al_2O_3, CH_3(CH_2)_nCOOH$

官報公示整理番号(化審法)：1-23, 2-608, 2-609

CAS番号：1344-28-1 57-10-3, 57-11-4, 544-63-8

危険有害成分

労働安全衛生法：第57条名称等を通知すべき有害物

190 酸化アルミニウム：約78%

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条) よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置**設備対策**

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状：個形成型体
色：白色
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性

溶媒に対する溶解性

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

(酸化クロムそのものの廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法令に従い、管理型の最終処分場に埋め立て処分しなければならない)

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化アルミニウム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・じん肺法
- ・じん肺法施行規則

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。

また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。

また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニワ株式会社**
住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3
電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1005 (Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名(又は一般名)：酸化アルミニウム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化アルミニウム：約79%

：脂肪酸：約21%

化学特性(化学式または構造式)： $Al_2O_3, CH_3(CH_2)_nCOOH$

官報公示整理番号(化審法)：1-23, 2-608, 2-609

CAS番号：1344-28-1 57-10-3, 57-11-4, 544-63-8

危険有害成分

労働安全衛生法：第57条名称等を通知すべき有害物

190 酸化アルミニウム：約79%

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条)よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置**設備対策**

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状：個形成型体
色：白色
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性

溶媒に対する溶解性

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化アルミニウム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・じん肺法
- ・じん肺法施行規則

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニター株式会社**

住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3

電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1006(E8003) (Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：酸化クロム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化クロム：約84～85%

脂肪酸：約15～16%

化学特性(化学式または構造式)： $\text{Cr}_2\text{O}_3, \text{CH}_3(\text{CH}_2)_n\text{COOH}$

官報公示整理番号(化審法)：1-284, 2-608, 2-609

CAS番号：1308-38-9、57-10-3、57-11-4、544-63-8、143-07-7

危険有害成分

労働安全衛生法：第57条名称等を通知すべき有害物

143 クロム及びその化合物：約84～85%

PRT法：第1種指定化学物質

68 クロム及び3価クロム化合物：約84～85%

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条)よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置**設備対策**

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状：固形成型体
色：緑色
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性

溶媒に対する溶解性

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

(酸化クロムそのものの廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法令に従い、管理型の最終処分場に埋め立て処分しなければならない)

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化クロム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

製品安全データシート(MSDS)

記載内容の問合せ先

会社名 **三ニター株式会社**
住所(本社) 東京都墨田区両国 1 -16-3
電話番号 03-3633-7181

製品名(化学品・商品名)

ポリッシング コンパウンド HD1007
(Polishing Compound)

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：酸化クロム、脂肪酸

成分及び含有量：酸化クロム：約 84 ~ 85 %
脂肪酸：約 15 ~ 16 %

化学特性(化学式または構造式)： $\text{Cr}_2\text{O}_3, \text{CH}_3(\text{CH}_2)_n\text{COOH}$

官報公示整理番号(化審法)：1-284, 2-608, 2-609

C A S 番号：1308-38-9、57-10-3、57-11-4、544-63-8、143-07-7

危険有害成分

労働安全衛生法：第 5 7 条名称等を通知すべき有害物

1 4 3 クロム及びその化合物：約 84 ~ 85 %

P R T R 法：第 1 種指定化学物質

6 8 クロム及び 3 価クロム化合物：約 84 ~ 85 %

危険有害性の要約

有害性：通常取り扱いにおいて毒性、刺激性は低いと考えられるが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響：本製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

物理的及び化学的危険性：脂肪酸は着火源に接すると(高温になると)引火して燃える(消防法指定可燃物)。また、アルカリと接触すると発熱する。

分類の名称：分類基準に該当しない。

応急措置

吸入した場合：研磨作業時の粉塵等を大量に吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移動し、鼻をかみ、うがいを行い、粉塵を排出する。症状によって(粘膜に刺激や悪寒等の症状が出た場合等)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：布などでふき取り、石鹼で洗い流す。肌荒れを生じた場合には保護クリーム等を塗布する。

眼に入った場合：直ちに瞼を開いて、清浄な水で刺激が軽減するまで十分に洗眼する（ただし、研磨剤砥粒を含有している為、瞼を絶対にこすらないように注意する）

痛みや刺激が残る場合は眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で十分に口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合は吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合は、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。

消火を行う者の保護(保護具等)：

本製品は燃焼すると炭素酸化物、炭化水素等を発生する為、防災活動をする時は呼吸用保護具を着用し、風上から行う。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には、必要により防護具を着用する。

環境に対する注意事項：下水溝、地下水等に流してはいけない。

除去方法：破片等を回収する。洗剤及び多量の水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策：本製品に含まれる脂肪酸の引火点は高いが、付近の着火源となりそうなものは速やかに取り除き、消火機材を用意する事。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止等)

- ・バフ等に塗布して研磨作業を行うと、製品原料や研磨かす等から粉塵が発生する。これらの微粉やバフの繊維等の粉塵を長期間にわたって吸入すると肺組織を徐々に損ない塵肺病の原因となるため、吸入防止に保護マスクを着用する。
- ・屋外で取り扱う場合は、出来るだけ風上にて作業する。

注意事項(局所排気、全体排気、エアロゾル・粉塵発生防止等)

- ・労働安全衛生規則第576条及び第577条は、粉塵を発生させる屋内作業場を有害な作業場と認識し、それらの含有濃度が有害な程度にならないよう発生源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設ける等、粉塵障害防止の為の必要な措置を講じる(労働安全衛生法第22条) よう事業者には義務付けている。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・フォークリフトの制御部等に付着すると、制御が効かなくなる恐れがある為、作業場内の清掃を励行する。

安全取り扱い注意事項(混合接触防止、接触回避等)

- ・点火源から遠ざける
- ・高温物や強酸化剤との接触を避ける。

保管：適切な保管条件

- ・直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。
- ・アルカリ性物質との同居を避ける。

暴露防止及び保護措置**設備対策**

- ・バフ研磨装置での集塵装置、研磨粉塵発生源の密閉、局所排気装置等を設ける。
- ・取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- ・呼吸器用の保護具：防塵マスク
- ・手の保護具：ゴム手袋
- ・眼の保護具：安全ゴーグル等
- ・皮膚及び身体の保護具：状況に応じゴム長靴、前掛け

適切な衛生対策

- ・マスク等の交換は定期または使用の都度行う。

物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状：固形成型体
色：緑色
臭い：脂肪酸臭
pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度 / 湿度範囲

沸点：232 (ステアリン酸の代表値)
融点：69～70 (ステアリン酸の代表値)
引火点：196.1 (ステアリン酸の代表値)
密度：0.8386(80) (ステアリン酸の代表値)

溶解性**溶媒に対する溶解性**

水：難溶、アセトン・アルコール・エーテル・クロロホルム・ヘキサン・ベンゼン等に易溶 (当製品に含まれる脂肪酸の溶解性)

安定性及び反応性

安定性：通常条件では安定

反応性：当製品に含まれる脂肪酸は苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリ物質と反応して容易に塩を生成するが、危険性・有害性は無い。

避けるべき条件：常温での取り扱いでは安定だが、本品を溶解して鉄・銅等の金属類と長期間接触すると腐食性を示す。

危険有害な分解生成物：知見なし

有害性情報

急性毒性：知見なし

局所効果(皮膚、目など)：

眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に刺激を引き起こす可能性がある。

環境影響情報

残留性 / 分解性：当製品に含まれる脂肪酸は分解性が良好と判断される。

廃棄上の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

(酸化クロムそのものの廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法令に従い、管理型の最終処分場に埋め立て処分しなければならない)

輸送上の注意

国際規制：知見なし

国連分類：当製品に含まれる脂肪酸は国連の基準に該当しない。

適用法令

酸化クロム：

- ・労働安全衛生法
- ・粉じん障害防止規則
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

脂肪酸：

- ・消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量3,000 Kg)
-

その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針
 - ・12996の化学商品
 - ・使用原料の各社「MSDS」
-

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保障値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。